



今こそ 観音魂

静岡県立観音山少年自然の家 所長 鈴木 由佳子

自然体験は予測できないことの連続です。イレギュラーがレギュラー。そのため、本所の職員は、計画通りに進まないことを念頭において常に活動に臨んでいます。突発的な事態に対してダメージを最小限に抑え、どのようにリカバリーしていくのか。次の行動に移さなければならない場面で、いかに迅速な判断をし、最善の対応ができるのか。慣れることのない緊張感の連続であり、「観音魂」の見せ所です。

コロナ禍の今、すべての人々が、イレギュラーな生活を余儀なくされました。子どもたちの学びや遊びが大きく変化し、人と人が触れ合う機会が減りました。しかし、そのような困難の中、オンライン教育が急速に進み、多くの知恵と工夫が結集して形となって現れ、子どもたちの学びが止まることはありませんでした。

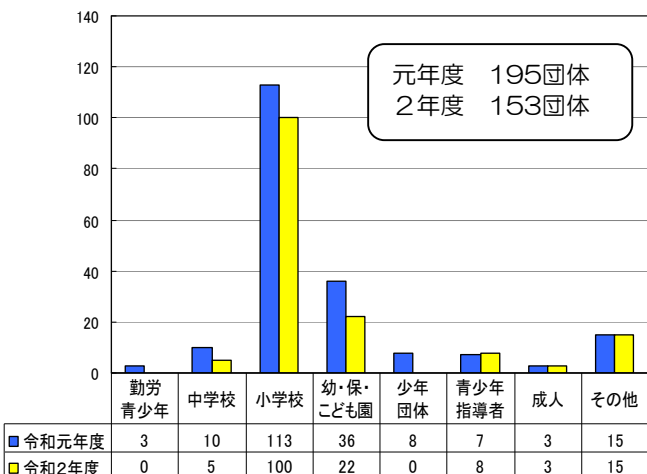
このような時だからこそ求められるのは、変化する社会環境にあっても、健康で踏まれても転んでも起き上がる強い心と体、勇気、そして、考える力です。こうした生きる力は、大自然に身をおき、木々の鮮やかさや沢の水の冷たさや風の音、鳥のさえずりを全身で感じ、困難を伴う体験に果敢にチャレンジする中で、子どもたちの身体に自ずと養われていくのだと思います。五感で感じる体験は、オンラインでは代価できない必要不可欠なものです。

観音山少年自然の家は、どのような世の中にあっても、子どもたちが、自然の偉大さや仲間と力を合わせるすばらしさ、自分や仲間のよさを感じ、たくましく成長できる施設としてお役に立てるよう、所員一同、知恵を出し合い、力を合わせて励んでまいります。これからも、多くの皆様の御利用を心からお待ちしております。

令和2年度の利用状況

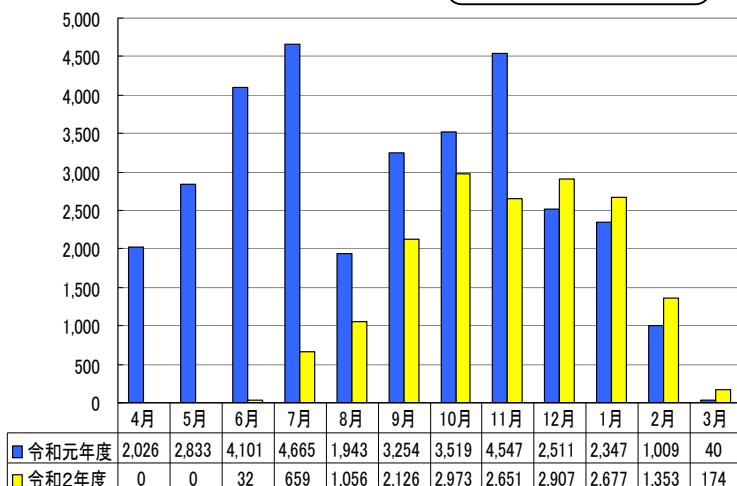
静岡県立観音山少年自然の家

利用団体者数

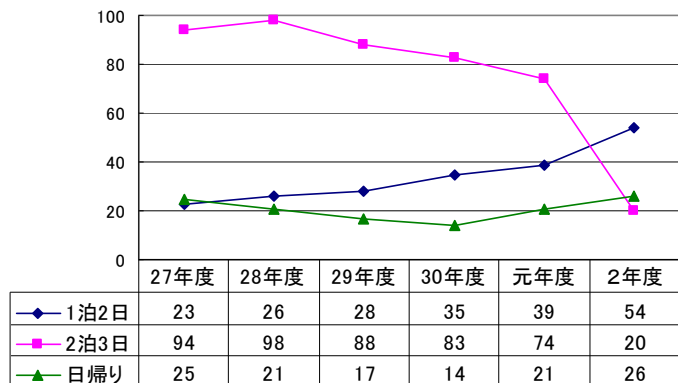


月別延利用者数

元年度 32,795人
2年度 16,608人



小学校の宿泊日数



令和2年度はコロナ禍のため、キャンセルや日程の縮小が相次ぎ、利用団体・利用人数共に大幅に減ってしまいました。中でも2泊3日から1泊2日に変更した団体が多かったです。

観音山少年自然の家では、コロナ対策に万全を期し、安心して利用していただけるように最善を尽くしています。たっぷり自然体験を行い、子どもたちをたくましく成長させるために2泊3日での活動プログラムをお勧めします。

学校等の活動の様子

困難克服型プログラム



山頂登山

沢登り

観音山トライアスロン、セレクトハイクなど

集団協力型プログラム



OLビンゴ

キャンプファイヤー

キャンドルのつどい、コマ地図ラリーなど

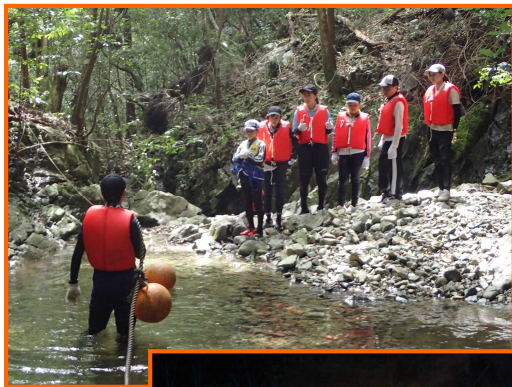
共通のプログラム

冒険ラリー ナイトウォークラリー など

○「困難克服型プログラム」「集団協力型プログラム」

観音山少年自然の家では、活動プログラムを「たくさん歩いて、粘り強く困難を克服するプログラム」(困難克服型)と「集団(グループ)で協力して、話し合いながら課題を解決するプログラム」(集団協力型)に分類しています。これは各入所団体のめあてや子どもたちの実態に沿ったプログラムを提案することを目的としています。今後のプログラム決定の際の参考にしてください。

小学生キャンプの様子



令和2年度は、コロナ渦の影響で日程や内容、規模を変更してキャンプを実施しました。どのキャンプも天候に恵まれ、計画通りの活動ができました。コロナ渦で制限もあるキャンプでしたが、大学生ボランティアと子どもたちが助け合いながら生活する中で、中身の濃い充実した活動ができました。また、笑顔とともに逞しさを身に付けることができました。

つなごう 心と心
～やり抜く心 助け合う心 感動する心～

「つなごう 心と心」をテーマに掲げ、1泊2日の夏キャンプ in 観音山を実施しました。1泊2日という短いキャンプでしたが、普段は経験できない自然の中での活動や、多くの人との関わりを通して、子どもたちは「やり抜く心」「助け合う心」「感動する心」を学び、成長する姿を見ることができました。

アドベンチャーキャンプ ～チャレンジ！冒険家への道～



チャレンジを合い言葉に子どもたちが3つのミッションに取り組みました。チャレンジする子どもたちの姿を見てシッピーは、チャレンジすることの素晴らしさを思い出すことができました。

もりもりキャンプ



「つくろう友だちの輪」を合い言葉として1年生から3年生を対象に1泊2日のキャンプを行いました。3つの活動を通して、参加した子どもたちの仲も深まり、友だちの輪をつくることができました。

ファミリーイベントの様子



1泊2日のファミリーデーは、今年度は日帰りで開催しました。自然物を使ったゲームやリース作り、門松作りなどを行いました。わくわくホリデーでは、栗やナンキンハゼを染料とした草木染や、七宝焼きのキーホルダー作りを行いました。どちらも普段はできない貴重な体験で、家族みんなで楽しい時間を過ごしました。観音山ハイキングでは、山頂を目指す「山頂登山コース」と、観音山のエリアを歩く「森林冒険コース」「磁石の石コース」の3つのコースに分かれてハイキングをしました。どちらのコースでもきれいな富士山が見ることができ、最高の「富士山の日」イベントとなりました。



夜間ハイキング



観音山ハイキング

リーダー育成研修会の様子 リーダースクールin観音山



アウトドア教室



リーダースクールin 観音山には、4つの大学から大学生が参加しました。子どもたちと一緒に活動する中で成長していく姿を頼もしく感じました。アウトドア教室では、中高生が指導者として必要な野外活動の知識や技能を学びました。学んだことを地域や学校で生かして活躍することを願っています。

